

日本薬局方  
無水エタノール

2010年7月作成(第1版)  
日本標準商品分類番号 872615

日本薬局方  
無水エタノール

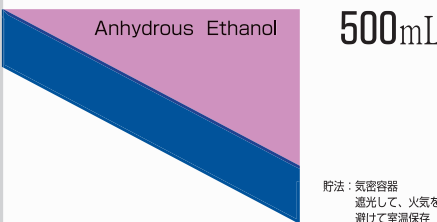
承認番号 16100AMZ 00994  
賞徴収載 1956年9月  
販売開始 2010年8月  
再評価結果 1982年8月

C

殺菌消毒剤

日本薬局方  
無水エタノール

無水エタノール「マルイシ」  
アルコール類＊水溶性＊危険等級Ⅱ＊火気厳禁



製造番号

使用期限

発売元  
**健栄製薬株式会社**  
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号  
電話番号 06(6231)5626

製造販売元  
**丸石製薬株式会社**  
大阪市鶴見区今津中2-4-2

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】  
損傷皮膚及び粘膜【損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。】

【組成・性状】  
エタノール(C<sub>2</sub>H<sub>6</sub>O) 99.5 vol%以上を含有する。

無色澄明の液である。

【効能・効果】  
手指・皮膚の消毒、手術部位(手術野)の皮膚の消毒、医療機器の消毒

【用法・用量】  
本品を精製水でうすめて、エタノールとして、7.6.9～81.4 vol%とし、これを消毒部位に塗布する。

- 【使用上の注意】
1. 重要な基本的注意
    - (1) 本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
    - (2) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。  
[エタノール蒸気に大量に又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。]
  2. 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等
皮膚 <sup>注)</sup>	刺激症状

注)このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 適用上の注意  
投与経路：外用にのみ使用すること。

- 使用時：
- (1) 同一部位(皮膚面)に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
  - (2) 血清、膿汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。
  - (3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等には、変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
  - (4) 本剤は引火性、爆発性があるため、火気(電気メス使用等も含む)には十分注意すること。また、電気メスによる発火事故が報告されているので、電気メス等を使用する場合には、本剤を乾燥させ、アルコール蒸気の拡散を確認してから使用すること。

4. その他の注意  
承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、眩暈感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

【薬効薬理】  
本剤は、使用濃度において、栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する効果は期待できない。

〈調剤包装単位用コード〉  
01104987286818382

〈販売包装単位用コード〉  
01114987286212385

キャップ：PP  
ボトル：PE  
ラベル：PET